

労働講座 感想文

今回の労働講座では、事前協議制度や産別協定、特定利用港湾を含む政治情勢について学び、港湾労働を取り巻く環境が大きく変化していることを改めて認識した。特に、先人たちが築き上げてきた港湾制度や労働条件は、多くの闘いと団結によって守られてきたものであり、その歴史を次世代へ継承していく重要性を強く感じた。また、全国の地方本部・各支部から参加した仲間との討議を通じて、地域ごとに課題は異なるものの、港湾労働者として抱える問題や思いには共通する部分が多いことを実感した。現在の政治情勢や港湾政策は現場にも大きな影響を及ぼすため、今後も学習と交流を継続し、全国の仲間と団結しながら闘う組織・全港湾の組合員として、より良い港湾労働環境と産業の発展に向けて取り組んでいきたい。

沖縄地方本部 新川秀幸